

# 營業報告

2019年4月1日～2019年9月30日

第61期中間報告書

## 目次

- 01 株主の皆様へ
- 02 トピックス
- 03 当第2四半期の  
業績について
- 05 当第2四半期の  
業績について
- 06 トピックス 2
- 07 当第2四半期の概況
- 09 株式に関する事項
- 10 会社概要

## 株主の皆様へ

message

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第61期第2四半期(2019年4月1日～2019年9月30日)における決算の概要をご報告申し上げます。

当期における経営環境は、堅調な企業業績や雇用環境の改善を背景に、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きが見られるものの、海外情勢の不確実性と日本経済への影響も懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

当社に関連深い半導体製造装置市場は、大手半導体メーカーの設備投資が調整局面にあります。一般的な産業用装置における設備投資は好調であり、受託製品の産業用制御機器及び自社製品全般におきましては、順調に推移しております。

このような経営環境のもと、顧客満足度の更なる向上のため、新製品開発のための積極的な研究開発活動と、製造設備の更新及び強化を実施しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きより一層のご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

菊地 豊



## 第61期第2四半期 トピックス

当第2四半期は、中期経営計画の「シンプルとスピード」を更に加速させ、経営資源の投入および当社のコア技術を軸にした新分野への展開を国内、東アジア中心とした海外に向け積極的に実施いたしました。

「組み込み製品」ではOCT向けの高速ADボード、「画像処理製品」では高速・高解像度のカメラI/F（10GbE）搭載ボードや次世代プロセッサ搭載の小型画像処理プラットフォームの開発・リリースを行い、ハイパースペクトルカメラのシリーズ化を含め医療・薬剤・食品業界等、新たな分野への営業展開を図ってまいりました。

また、パートナーとの協業も加速させ、AI等の技術を活用した検査システムやIoTをキーワードとした事業分野への展開を進めることが出来ました。

今後も期待される次世代通信「5G」がもたらすエッジコンピューティング技術に当社のコア技術である、高速通信・分散/リアルタイム処理等を展開し、あらたなビジネスモデルの構築を進めてまいります。



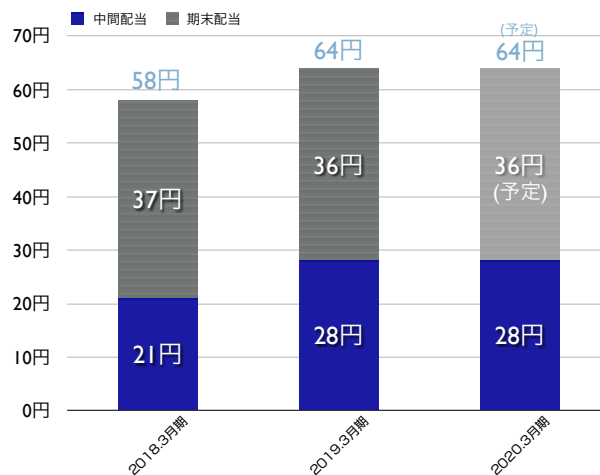
アナログI/Fボード  
ExpressConverter  
APX-5056

## 第61期中間配当の実施について

当社は、将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、配当性向35%を基本に、株主の皆様への成果配分を行っております。

当期の配当金につきましては、このような基本方針のもと、中間配当を1株当たり28円とさせていただきます。

また、期末の配当金は、36円とし、年間合計64円(前期実績:64円)を予定しております。



## 当第2四半期の業績について

### 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科目             | 前期                       | 当期                       |
|----------------|--------------------------|--------------------------|
|                | 2018年4月1日～<br>2018年9月30日 | 2019年4月1日～<br>2019年9月30日 |
| 売上高            | 3,812                    | 3,617                    |
| 売上原価           | 2,386                    | 2,269                    |
| 売上総利益          | 1,425                    | 1,348                    |
| 1 ← 販売費及び一般管理費 | 663                      | 681                      |
| 営業利益           | 762                      | 667                      |
| 営業外損益          | 32                       | 32                       |
| 経常利益           | 794                      | 699                      |
| 四半期純利益         | 566                      | 504                      |

**1** 販売費及び一般管理費681百万円には、今後の製品展開のための研究開発及び広告宣伝の費用293百万円が含まれております。

**2** 現金及び預金13百万円、受取手形及び売掛金26百万円が、それぞれ増加し、電子記録債権32百万円、たな卸資産25百万円が、それぞれ減少した結果、11百万円減少し8,235百万円となりました。

**3** 有形固定資産123百万円、投資その他の資産が投資有価証券の時価変動の影響等により474百万円が、それぞれ増加した結果、599百万円増加し5,445百万円となりました。

**4** 未払法人税等63百万円が増加し、支払手形及び買掛金204百万円、引当金関係57百万円が、それぞれ減少した結果等により、184百万円減少し1,515百万円となりました。

**5** 繰延税金負債144百万円が増加し、長期借入金12百万円が減少した結果、132百万円増加し738百万円となりました。

**6** 利益剰余金283百万円、その他有価証券評価差額金が保有しております投資有価証券の時価変動の影響により330百万円が、それぞれ増加した結果、639百万円増加し11,426百万円となりました。

## 貸借対照表（要旨）

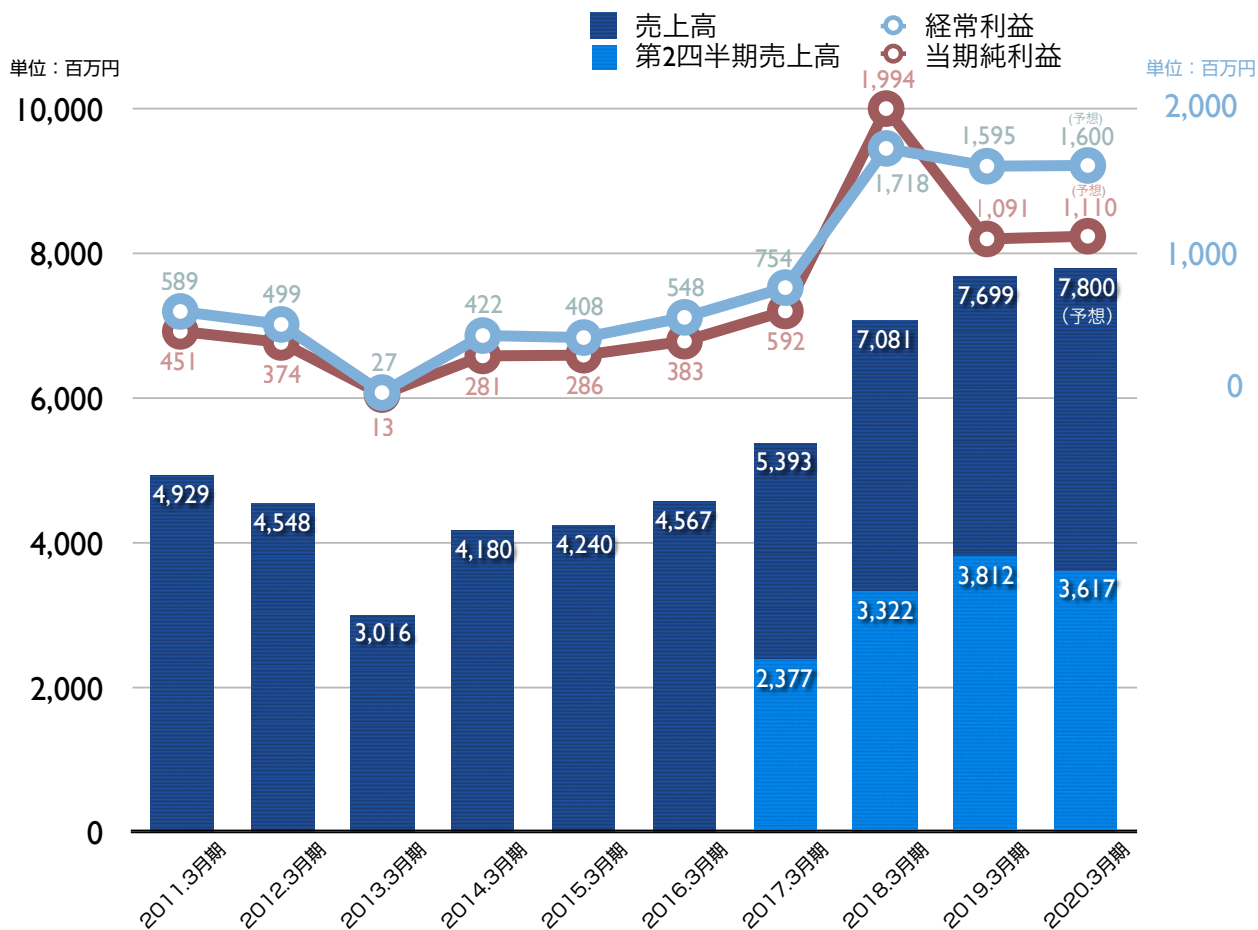
(単位：百万円)

| 科目              | 前期年度末        | 当期           |
|-----------------|--------------|--------------|
|                 | 2019年3月31日現在 | 2019年9月30日現在 |
| ■資産の部           |              |              |
| <b>2</b> ← 流動資産 | 8,247        | 8,235        |
| 現金及び預金          | 4,592        | 4,606        |
| 受取手形及び売掛金       | 1,285        | 1,311        |
| 電子記録債権          | 582          | 549          |
| 商品及び製品          | 546          | 532          |
| 仕掛品             | 372          | 308          |
| 原材料及び貯蔵品        | 758          | 810          |
| その他             | 109          | 116          |
| <b>3</b> ← 固定資産 | 4,845        | 5,445        |
| 有形固定資産          | 1,805        | 1,929        |
| 無形固定資産          | 31           | 32           |
| 投資その他の資産        | 3,008        | 3,483        |
| 投資有価証券          | 2,980        | 3,456        |
| その他             | 27           | 25           |
| 資産合計            | 13,093       | 13,680       |

(単位：百万円)

| 科目               | 前期年度末        | 当期           |
|------------------|--------------|--------------|
|                  | 2019年3月31日現在 | 2019年9月30日現在 |
| ■負債の部            |              |              |
| <b>4</b> ← 流動負債  | 1,700        | 1,515        |
| 支払手形及び買掛金        | 1,048        | 843          |
| その他              | 649          | 670          |
| <b>5</b> ← 固定負債  | 605          | 738          |
| 負債合計             | 2,305        | 2,254        |
| ■純資産の部           |              |              |
| 株主資本             | 9,203        | 9,512        |
| 資本金              | 2,354        | 2,354        |
| 資本剰余金            | 2,493        | 2,500        |
| 利益剰余金            | 5,333        | 5,617        |
| 自己株式             | △ 977        | △ 960        |
| 評価・換算差額等         | 1,583        | 1,914        |
| <b>6</b> ← 純資産合計 | 10,787       | 11,426       |
| 負債純資産合計          | 13,093       | 13,680       |

売上高 / 経常利益 / 当期純利益



## 厚木事業所 製造ラインの強化

2019年5月に第2製造ラインが最新設備となる更新を行い、生産性向上と更なる微細化生産が可能となりました。

また、9月に第2製造ラインの生産可能サイズを拡張する追加設備投資を行い、最大サイズが510×400mmまで生産可能となる設備体制を構築いたしました。



厚木事業所



商品センター



空調管理された部品倉庫



更新した第2製造ライン

## 第61期第2四半期に出展したおもな展示会

OPIE'19

2019年4月24日～26日(パシフィコ横浜)

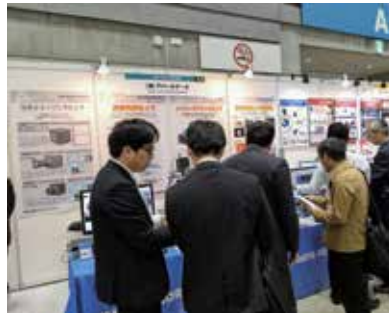
画像センシング展2019

2019年6月12日～14日(パシフィコ横浜)

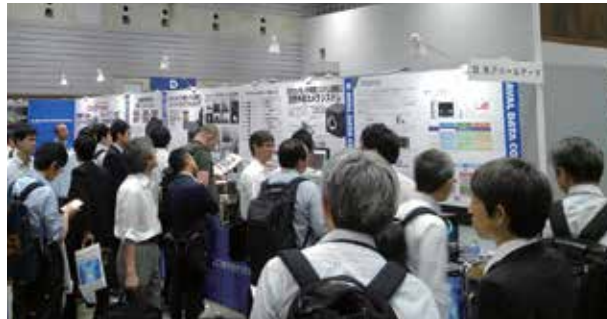
赤外線アレイセンサフォーラム2019

2019年7月26日(立命館大学・いばらきキャンパス)

OPIE2019



画像センシング展2019



## 当第2四半期の概況

当社は、事業内容を受託製品と自社製品の2つの報告セグメントに分けております。

### 1. 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。半導体製造装置関連市場におきましては、大手半導体メーカーの設備投資が調整局面にあり、新規設備投資の後倒しの影響を受けております。また、一方で産業用制御機器におきましては、従来顧客の安定的な需要に加え、新規顧客の営業展開が進んだことにより、受託製品全般において順調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,846百万円(前年同期比16.3%減)、セグメント営業利益は252百万円(前年同期比40.4%減)となりました。

#### ■ 受託製品 半導体製造装置関連

半導体製造装置の制御部を提供しております。大手半導体メーカーの3D-NAND向け設備投資が調整局面にあり、新規設備投資の後倒しの影響のため、半導体製造装置関連の売上高は減少し、1,390百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

#### ■ 受託製品 産業用制御機器

各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。産業用検査装置の新規展開が順調に進んだため、売上高は増加し、353百万円(前年同期比26.6%増)となりました。

#### ■ 受託製品 計測機器

各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。各種計測機器の需要は回復傾向にありますが、売上高は前年同期比では減少し、101百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

### 2. 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売並びにこれらに付属する周辺機器およびソフトウェア等の自社製品関連商品の販売を行っております。全般的な産業用装置における設備投資は回復基調にあり、加えて新分野への開拓も順調に進み自社製品全体では、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,771百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント営業利益は641百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

#### ■ 組込みモジュール

半導体製造装置、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。FA全般および医療機器関連における新規受注が堅調に推移しており、売上高は増加し、218百万円(前年同期比29.3%増)となりました。



### ■ 画像処理モジュール

FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。各種検査装置においては積極的な新製品開発の推進に加え、検査工程の自動化ニーズの高まりから高水準で推移しておりますが、前年同期比では顧客需要の横ばい傾向により、売上高は減少し、699百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

### ■ 計測通信機器

超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の新規検査装置向けの受注が順調に進んだことにより、売上高は大幅に増加し、765百万円（前年同期比39.6%増）となりました。

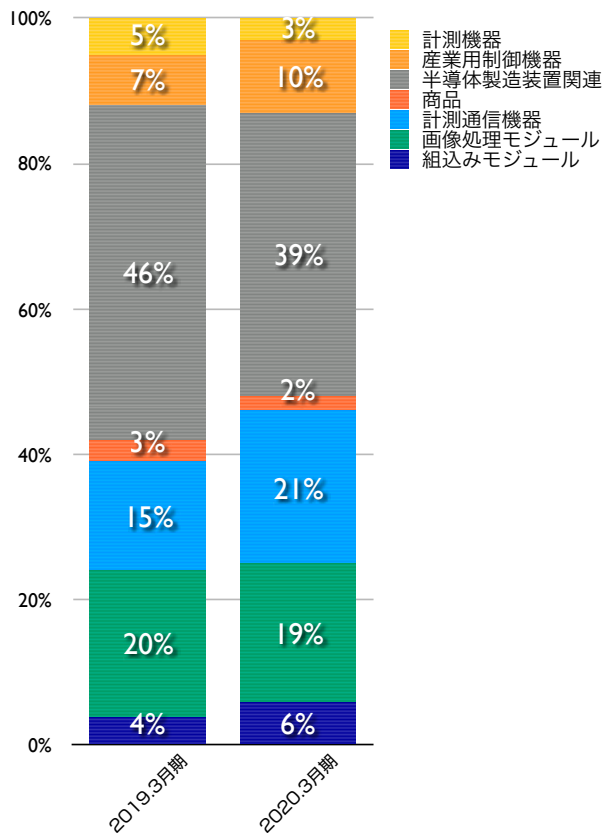
### ■ 自社製品関連商品

自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、自社製品全般が堅調に推移しておりますが、売上高は前年同期比では減少し、88百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

小型画像処理BOX  
ASI-1424  
CameraLinkカメラを  
4台接続できる  
コンパクトな  
画像処理用PC



■ 第2四半期売上構成比率（前年同期との比較）



## 株式の状況 (2019年9月30日現在)

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 23,500,000株 |
| 株式の種類    | 普通株式        |
| 発行済株式の総数 | 7,417,842株  |
| 株主数      | 3,589名      |
| 単元株式数    | 100株        |

## 株主メモ

|        |                   |         |
|--------|-------------------|---------|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |         |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催            |         |
| 基準日    | 定時株主総会の議決権        | 毎年3月31日 |
|        | 期末配当金             | 毎年3月31日 |
|        | 中間配当金             | 毎年9月30日 |

## 大株主 (上位10名)

| 株主名                  | 持株数      |
|----------------------|----------|
| 株式会社ニコン              | 646,700株 |
| 佐々木嘉樹                | 202,000株 |
| 嶋村 清                 | 193,600株 |
| 奥村龍昭                 | 190,000株 |
| アパールグループ社員持株会        | 177,149株 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社   | 154,700株 |
| 株式会社日本マイクロニクス        | 119,600株 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 112,200株 |
| レーザーテック株式会社          | 109,500株 |
| イーソル株式会社             | 107,000株 |

## 当社のIRに関して

当社は、投資家の皆様に、広く当社をご理解いただくため、適切な情報開示に努め、さらにIR活動の充実を目指しております。

株主様をはじめ個人投資家の皆様には、工場見学会、決算説明会の開催をととして、当社及び当社製品についてのご理解を深めていただくことを心掛けております。

またアナリスト、機関投資家向け決算説明会を年2回定期的に開催し当社の経営状況について経営者より直接ご説明をさせていただいております。

決算説明会



## 決算説明会、工場見学会

2019年5月27日(月) 2019年3月期決算説明会開催  
：丸ビル8階ルーム4

2019年11月20日(水) 2020年3月期第2四半期決算説明会及び工場見学会開催  
：当社厚木事業所

|           |  |      |
|-----------|--|------|
| 商号        | 株式会社アバールデータ  |      |
| 資本金       | 23億5,409万円   |      |
| 設立年月日     | 1959年(昭和34年)8月   |      |
| 社員数       | 184名(2019年9月30日現在)   |      |
| 事業内容      | 一般通信機器の製造販売、工業用計測器並びに工業用制御装置の製造販売、物理、化学、医学用等の電子装置の製造販売、その他の各種電子応用装置の製造販売 |      |
| 役員        | 代表取締役社長  | 菊地 豊 |
|           | 代表取締役  | 広光 勲 |
|           | 取締役  | 岩本直樹 |
|           | 取締役 常勤監査等委員  | 大塚忠彦 |
|           | 取締役 監査等委員  | 金子健紀 |
| 取締役 監査等委員 | 金澤健一   |      |



アバールデータの経営理念、A'VALue<sup>+</sup>（エー・バリュー・プラス）とは、それぞれ以下の頭文字を、加えて生まれた造語です。A'VAL:「Available:有用性」から付けられた当社の社名AVAL。そのうえA'には:技術の「Advance:先進性」、その品質の「Assure:保証」、サービスや対応の「Agile:早さ」など様々な「価値」の意味を表しています。u:私たちの会社の理念「顧客を第一に考える」の姿勢(u[user oriented]) e:「エレクトロニクス」に代表される当社の技術(e[e-solution])。そして+:にはA'VALueを進める推進力として社員一人一人が持っている潜在力を一つのベクトルにあわせて働きかけ加速させ、いつでもお客様に必要な価値を追究し提供する決意を表しています。

## 株式事務のご案内

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

各種お問合せ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 公告方法

電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

当社のWebサイトアドレス<https://www.avaldata.co.jp>

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

## 株式会社アバールデータ

〒194-0023 東京都町田市旭町 1-25-10

TEL042-732-1000 FAX042-732-1022

<https://www.avaldata.co.jp>

